



# トライアル

令和元年 5月15日(木)  
四季が丘小学校 研究推進便り

## 学び続ける児童の育成に向けて

～ICTを利活用し、メタ認知と深い学びを促す授業づくりを通して～

1学期がスタートして1ヶ月たちました。学習のルールがそろい、真剣に学びに向かう子どもたちの姿は先生方の日々の丁寧で粘り強いご指導の賜物であることを強く感じます。

学習規律の徹底が整ってきました。次の課題は学習指導、授業で何を指導するのかということについて共通認識をもちたいと思います。



## 実際の授業では子どもたちにどんな力を身に付けるのでしょうか。

- ・教材を通して学び方を理解させる。(1年生からでもできます！)
- ・本単元の指導事項をしぼって設定する。(特に国語科では1つか2つに)
- ・「この単元で教科として付ける力は何なのか」「育成したい力をつけるために、今日、何を指導するのか」を明確にする。  
→ そのためには、児童実態の把握と教材研究が必要不可欠です。

**単元が終わったときに、身に付けさせたい力がついていて！と児童とともに実感できる授業づくりをめざしていきましょう！**



## 指導を振り返ってみましょう！（発問・指示編） メタ認知につながりますね。

- 発問・指示を繰り返したり、言い換えたりしていない。
- 発問を精選し、しゃべりすぎしていない。
- どなったり、大声を出したりしない。
- 学年に応じた発問・指示ができています。
- 児童の反応を予想して、発問や指示の内容を考えている。
- 本時の学びのキーワードを児童から引き出している。



**教師の言語環境を整えることが言語活動の充実への第一歩です！**

今年度も毎月のICT活用状況調査があります。月末に集計表に活用回数を記入していただき、担当でとりまとめて活用実績を市教委に報告します。

電子黒板やタブレットを授業で活用した回数を記録しておいてください。

さまざまな場面で効果的に活用していきましょう。

